

# KBC映像組合新聞

E-mail: kbceizo uni@r2.dion.ne.jp

## 26日(月)に行われた団交において、 春闘要求に対する二次回答と、 夏季一時金の回答が行われました。

26日(月)に会社と団交を行い、春闘要求の二次回答と夏季一時金の一次回答が行われました。  
(回答書は別紙参照)

会社：岡取締役、高浜総務部長、阿高総務部長代理  
組合：田中委員長、山田書記長、小幡書記次長、丸山執行委員

組合は、春闘要求の二次回答の重点要求として、過去最高の営業収益を達成したことに対するベアと、全ての構内労働者へのリフレッシュ休暇制度の適用を挙げていましたが、会社の回答は『ベアアップは出来る状況ではない』『有期雇用者へのリフレッシュ休暇制度については現段階では対応できない』という残念な回答となりました。また、夏季一時金についても、昨年末の受結算式より1万円低い額が提示され、有期雇用者には年棒制であるという理由で残念ながら今回も一時金の提示はありませんでした。

一時金について、組合が「なぜ昨年末の受結算式より1万円下がっているのか？」と聞くと、会社は「テレショップの単発が無くなり今年度の見通しが立たない、4月も予算を達成できていない、ベアの回答でも説明しているが、未だ会社の財務体質が脆弱だからです」と答えました。組合の「有期雇用者には年棒制だから支給されないのか？」という質問には、会社は「そうです」と回答しています。

ベアについて、組合が「財務体質の弱さは、組合が結成された当時から同じ回答をしているが、具体的にはどのような対応をしているのか」と聞くと、会社は「中長期経営計画に則ってやっている、単価のより高い他局の仕事も増えるよう努力をしている」と答えました。組合が「では、他局の仕事はどのくらいあるのですか？」と聞くと、「何十%というわけではない。正確に何%とはすぐに答えられない。全体としてはやはりKBCの仕事が70%以上占めています」と答えました。組合が「ではKBCとの交渉はどうなっているのですか？」と聞くと、会社は「毎年努力はしているが、TV業界の広告収入の低下に伴って、予算も削減されていて、なかなか契約料を上げられない。原油価格高騰などもあり、クライアントも不景気なので、なかなか厳しい」と回答しました。

組合は、「それでは今回の回答は持ち帰って、協議させていただきます」と会社に報告した上で、組合から「正社員と有期雇用者では、待遇において区分はあるかもしれないが、有期雇用者は重要な戦力である。その重要な戦力を失わないためにも、有期雇用者の待遇についてはもう一度考慮していただきたい。昨年末の入社試験で4名が正社員として採用されたが、戦力を失わないためにも、社員化を制度化するなどの対応も考えていただきたい」と意見を述べ、団交は終了しました。

執行部としては、今回の会社の2次回答について、代議員会で説明を行い、職集で現場の意見を収集したいと考えています。つきましては、28日(水)に代議員会を行いたいと思いますので、代議員の方は必ず出席してください。

### 【今後のスケジュール】

5月28日(水) 代議員会 昼休み  
6月21日(土)～22日(日) 全国女性の集い in 広島

裏面に全国女性の集いの労連発文を掲載。参加希望者は執行部まで。